

九億の内が必要止むを得ぬと云ふところの数字は即ち滿洲事變費並に、之に關聯する國防の完備に要するところのものであります。之がせい／＼約四億圓でありまして、殘金の五億圓と云ふものは必ずしも緊急止むを得ぬ經費許りとは限らない、それでありますから、今日の帝國の財政を顧み大にこの五億圓の豫算に對して、一大斧鉞を加へ、尙これに徹底的行政整理及び稅制整理を圖りまして、少くも歳入と歳出との均衡を計ると云ふことが焦眉の問題であると私は確信して疑はないのであります。歳入と歳出との均衡を見れば、其他の枝葉末節の財政問題は自ら解決するのであります。目下のこの帝國の非常時局に當りまして、我が國民の熱望措く能はざるものは即ち披山蓋世の勇氣と、果敢斷行の鐵腕とを有する一大政治家の出現であると私は信じます。かの區々なる法理や慣例や或は情實に捉はれ、若は議會の「一舉一動」に腐心焦慮するところの小心翼翼たる怯懦なる政治家に向て、この非常時局に對して、救國濟民の實を擧る事を望むことは、恰も木に縁つて魚を求むる類であります。宜しく正義の旗を陣頭に翻しその所信に向て邁進すべきであつて、いやしくもその征戰の進路を遮るものがあつたならば、鎧袖一觸の慨を以て望めば足りるのであります。

この時局を打開せん爲めには、かの黨利黨略本位に立脚し、國政を私黨の具に供するところの腐敗せる政黨を絶縁致しまして、正々堂々、正義の主張に向つて邁進して、この衰退せる所の國運を未倒に挽回することを、期せねばならんと考へるのであります。(昭和八年一月廿五日京都の時局大演説において)

滿洲問題と國際聯盟

陸軍大將 田 中 國 重

滿洲問題は日本民族の死活存亡に關する一大懸案なり、曩に吾人が二十有餘萬の生靈を犠牲に供し二十有餘億の國帑を投じ國運を賭して乾坤一擲の一大活劇を演じたる日清日露の兩戰役も皆此一大懸案を解決せんが爲めの序幕に過ぎずして東洋の平和を永久に確立し、日本民族の生存を長遠に確保するも一に懸つて本案の解決如何に存するを以て吾人は萬難を排し死力を盡し所謂全國を擧げて焦土と化するも此重大使命達成の爲めには尙且辭せざるの牢固不拔の決意なかるべからざるなり。

昨年秋季國際聯盟開會の當初に在つては我松岡全權は意氣軒昂として強敵を呑むの慨を以て健戰奮闘して深く國民の信頼と稱讃とを博し、又我外相は昨年臨時議會に於て「全國を擧げて焦土と化するも」云々と傲語して其決意のある所を中外に宣明して國民の憤憤を拂ふと同時に聯盟に「大威赫を加へたるは我外交史上稀有の快事として吾人の記憶に新たなる所なり、然るに豈に圖らんや愈々聯盟と正面衝突の危機に頻するや俄然として我全